

LTW "Lunatic Tag Wrestler" タイトル

概要

無差別級でのタッグ王座。旗揚げ時より存在する
東方プロレスタッグレスラーへのフラッグシップ・タイトル。
このベルトを持つ事は、東方プロ内で
『強い絆』と『互いに背中を任せて闘える』という『絶対的な信頼感』の
頂点を極めた者としてその名を示す事が許されている。

しかしながらその『強い絆』と『絶対的な信頼感』が揺らいだ瞬間に
即座に王座から陥落する形でタイトル移動が行われており、
団体内組織・軍団抗争の材料にもされやすい事、そして何より
『このベルトを持つものに災難が降りかかる』と言わんばかりの
その後の凄惨なストーリー展開が待っている事も合わせ、
名勝負量産タイトルながら本来のタイトル意味とは違う意味を含んでしまっている

王者への挑戦には以下の条件が必要

1. 階級が**無差別級**である
2. 実績・知名度・ファン推薦が十分である
3. 四季映姫本部長・GM天子によるタイトルマッチ認定が行われる
4. 四季映姫本部長・GM天子による認定挑戦者決定戦に勝ちあがる

例外条件として **パートナーあるいはタッグ双方がU3級所属であっても**
無差別級を上回る総合力と同時期に **上記該当条件達成による**
マッチングが行われなければ、格上挑戦も可能 となっている。

(2008年8月現在 適応例無し)

前述の通り絶対的な威力と意味を持つ**LSW**と比べ覇権争いの材料にされる事も多く
王者・挑戦希望者間の合意の上での試合決定
がなされることが非常に多い。

変歴

初代...**レミリア & フラン (第一期紅魔館) 防衛0回**

- ▶ こちらのタイトルも、LSWと同様に旗揚げ戦最終試合後のアナウンスで歌い上げられるが、LSW王者決定を優先させたために、こちらのタイトルの始動は第4回大会からの初代王者決定トーナメント戦からとなる。挑戦したのは、**アリス&魔理沙、霊夢&紫、フラン&レミリア、てみ&鈴仙、藍&橙、幽々子&妖夢、輝夜&永琳、妹紅&慧音**の8組で、最終的に第7回大会の決勝戦で勝ち残った**フラン&レミリア**組が初代王者の栄冠を手にした。
- ▶ が、栄光もつかの間、第11回大会にて**妹紅&慧音**組の挑戦にあっさりと敗れて王座陥落の憂き目を見ることに。しかもこの防衛戦直後に、レミリアとファンが驚天動地する展開があった。

大会	試合	内容	勝者	試合時間・フィニッシュ	敗者	備考
----	----	----	----	-------------	----	----

第4回	第1試合	初代王者決定 トーナメント 一回戦第1試合	<u>霊夢&紫(結 界少女)</u>	22:58 <u>霊夢>アリス</u> 腋固め	<u>アリス&魔理 沙(ウィッチ ドール)</u>	<u>結界少女</u> が二回戦 進出
第4回	第3試合	初代王者決定 トーナメント 一回戦第2試合	<u>レミリア& フラン(ス カーレット 家)</u>	20:05 <u>フラン>てみ</u> スタマッククラッ シャー	<u>てみ&鈴仙(て みレーセン)</u>	<u>スカーレット家</u> が 二回戦進出
第5回	第1試合	初代王者決定 トーナメント 一回戦第3試合	<u>藍&橙(やく もちェン)</u>	25:13 <u>藍>妖夢</u> トル ベジーノ	<u>幽々子&妖夢(</u> <u>幽々子&妖夢)</u>	<u>やくもちェン</u> が二 回戦進出
第5回	第2試合	初代王者決定 トーナメント 一回戦第4試合	<u>輝夜&永琳(</u> <u>蓬莱てるよ)</u>	24:12 <u>輝夜>慧音</u> ブ リリアントドラゴン スープレックス	<u>妹紅&慧音(も こけーね)</u>	<u>蓬莱てるよ</u> が二回 戦進出
第6回	第1試合	初代王者決定 トーナメント 二回戦第1試合	<u>レミリア& フラン(ス カーレット 家)</u>	19:14 <u>フラン>紫</u> ス ターボウブレイク	<u>霊夢&紫(結界 少女)</u>	<u>スカーレット家</u> が 決勝戦進出
第6回	第4試合	初代王者決定 トーナメント 二回戦第2試合	<u>藍&橙(やく もちェン)</u>	25:54 <u>藍>輝夜</u> プリ ンセステンコー	<u>輝夜&永琳(蓬 萊てるよ)</u>	<u>やくもちェン</u> が決 勝戦進出
第7回	第4試合	初代王者決定 トーナメント 決勝戦	<u>レミリア& フラン(ス カーレット 家)</u>	24:01 <u>フラン>藍</u> ス ターボウブレイク	<u>藍&橙(やくも ちェン)</u>	<u>スカーレット家</u> が 初代王者戴冠
第10回	第4試合	次期挑戦者決 定戦	<u>妹紅&慧音(</u> <u>もこけーね)</u>	20:04 <u>慧音>萃香</u> 寺 子屋ピラミッドドラ イバー	<u>萃香&魔理沙(</u> <u>正規軍)</u>	<u>もこけーね</u> が次期 挑戦者に決定
第11回	第5試合	タイトルマッ チ	<u>妹紅&慧音(</u> <u>もこけーね)</u>	14:06 <u>妹紅>レミリ ア</u> フジヤマヴォル ケイノイラブション	<u>レミリア&フ ラン(スカー レット家)</u>	<u>スカーレット家</u> が 防衛失敗 <u>もこ けーね</u> が第二代王 者戴冠

二代目...妹紅&慧音 (もこけーね) 防衛1回

- ▶ 第11回大会にて前王者を破って戴冠するも、当初一部のファンの間では、紅魔館内紛によるごたごたの棚ぼたではないか、という目で見られていた。しかし、第14回大会にて紫&幽々子のゆかゆゆタッグという東プロでも屈指の実

力のタッグを破り、その実力を知らしめてファンを納得させた。

- ▶ だが、第17回大会にて霊夢&萃香組に敗れて王座から陥落してしまう。その後タッグとしての絆自体に綻びが生じることがなかったが、もこけーねはマット上での露出が極端に減り、皆が驚愕したあの選択へと繋がっていくのだが、それはまた別のストーリーである。

大会	試合	内容	勝者	試合時間・フィニッシュ	敗者	備考
第10回	第4試合	次期挑戦者決定戦	<u>妹紅&慧音</u> (<u>もこけーね</u>)	20:04 <u>慧音</u> > <u>萃香</u> 寺子屋ピラミッドドライバー	<u>萃香&魔理沙</u> (<u>正規軍</u>)	<u>もこけーね</u> が次期挑戦者に決定
第11回	第5試合	タイトルマッチ	<u>妹紅&慧音</u> (<u>もこけーね</u>)	14:06 <u>妹紅</u> > <u>レミリア</u> フジヤマヴォルケイノイラプション	<u>レミリア&フラン</u> (<u>スカーレット家</u>)	<u>スカーレット家</u> が防衛失敗 <u>もこけーね</u> が第二代王者戴冠
第13回	第2試合	次期挑戦者決定戦	<u>紫&幽々子</u> (<u>ゆかゆゆ</u>)	16:13 <u>幽々子</u> > <u>文</u> 亡霊クラッチ	<u>文&小町</u> (<u>実況組</u>)	<u>ゆかゆゆ</u> が次期挑戦者に決定
第14回	第4試合	タイトルマッチ	<u>妹紅&慧音</u> (<u>もこけーね</u>)	21:27 <u>慧音</u> > <u>幽々子</u> 寺子屋ピラミッドドライバー	<u>紫&幽々子</u> (<u>ゆかゆゆ</u>)	防衛1回目
第17回	第6試合	タイトルマッチ	<u>霊夢&萃香</u> (<u>博麗神社</u>)	24:57 <u>霊夢</u> > <u>妹紅</u> ノーザンライトボム	<u>妹紅&慧音</u> (<u>もこけーね</u>)	<u>もこけーね</u> 防衛失敗 <u>博麗神社</u> が第三代王者戴冠

三代目...霊夢&萃香 (博麗神社) 防衛3回

- ▶ 前述の通り第17回大会にてもこけーねからベルトを奪取することに成功し、第20回大会にて文&小町の実況組、第25回大会にて咲夜&美鈴の紅魔館組、第28回大会にて早苗&神奈子の守矢神社組の挑戦を退けている。もっとも、実況組挑戦時は萃香の調子が不安定、守矢神社挑戦時は霊夢が絶不調で、パートナーのどちらかが孤軍奮闘する展開が多かった上に、その後霊夢がパートナーである萃香に相談もなくGM軍との業務提携に動くなど、このタッグにも先行き不透明感が出ていた。
- ▶ その不安が的中。第31回大会で霊夢が完全に買収、萃香と分断されてしまい、ゴングが鳴る前に仲間割れによって沈められ、妹紅とパチュリーによって3カウント。王座陥落が王者同士で行われてしまうという最悪の結末となった。

大会	試合	内容	勝者	試合時間・フィニッシュ	敗者	備考
第17回	第6試合	タイトルマッチ	<u>霊夢&萃香</u> (<u>博麗神社</u>)	24:57 <u>霊夢</u> > <u>妹紅</u> ノーザンライトボム	<u>妹紅&慧音</u> (<u>もこけーね</u>)	<u>もこけーね</u> 防衛失敗 <u>博麗神社</u> が第三代王者戴冠

第20回	第6試合	タイトルマッチ	<u>霊夢&萃香(博麗神社)</u>	24:18 <u>霊夢</u> > <u>小町</u> 妖怪バスター	<u>文</u> & <u>小町(実況組)</u>	防衛1回目
第24回	第5試合	次期挑戦者決定戦	<u>咲夜&美鈴(さくみりん)</u>	21:50 <u>咲夜</u> > <u>ミスティア</u> ソウルスカルプチュア	<u>幽々子</u> & <u>ミスティア(白玉楼)</u>	<u>さくみりん</u> が挑戦者に決定
第25回	第7試合	タイトルマッチ	<u>霊夢&萃香(博麗神社)</u>	22:58 <u>萃香</u> > <u>美鈴</u> 百万鬼夜行	<u>咲夜</u> & <u>美鈴(さくみりん)</u>	防衛2回目
第28回	第6試合	タイトルマッチ	<u>霊夢&萃香(博麗神社)</u>	20:34 <u>萃香</u> > <u>早苗</u> ミツシングパールボム	<u>早苗</u> & <u>神奈子(守矢神社)</u>	防衛3回目
第31回	第6試合	タイトルマッチ	<u>妹紅</u> & <u>慧音(もこけーね)</u>	0:00 <u>妹紅</u> > <u>萃香</u> 試合放棄によるスリーカウント	<u>霊夢</u> & <u>萃香(博麗神社)</u>	<u>博麗神社</u> 防衛失敗 <u>もこけーね</u> が第四代王者戴冠

四代目...妹紅&慧音 (GM軍) 防衛2回

- ▶ 前王者の内紛を掠め取った新王者組は元二代目LTW王者組。しかしその立ち振る舞いに過去の面影は皆無。かつての有識者タッグはGM天子に忠誠を尽くす外道と成り果ててしまった。それを認めてはならずとアリスが失意の萃香と即席タッグを組むがこれを難なく粉砕。自らもっていた防衛記録タイを自らの力で祝うという暴挙に会場からブーイングが鳴り止まなかった。
- ▶ そんな外道王者タッグに対して現れた次の挑戦者は、『SEVENS』シリーズでお互いを認め合ったという越境タッグゆうさな。だが、やはりタッグ経験の差は歴然としており、王者組はラフファイトを交えつつこれを粉砕、防衛記録を伸ばした。
- ▶ LTWのみならず東プロの全てのベルトを通して、初の再戴冠であるが、今のところそれを祝うファンはほとんど皆無と言って良い状態で、動向が注目されていたが、第39回大会にてコンテンダーマッチを勝ち上がってきたあやこまの前に敗れ、タイトルを失った。しかも試合後に2人ともGM軍を離脱するというおまけまで。
- ▶ それでも、王者であった期間の振る舞いは、さすがに最強タッグとうわたれるだけの風格を持っており、次は正々堂々、皆に祝福を受けての三回目の戴冠を願うファンもまた多い。

大会	試合	内容	勝者	試合時間・フィニッシュ	敗者	備考
第31回	第6試合	タイトルマッチ	<u>妹紅</u> & <u>慧音(もこけーね)</u>	0:00 <u>妹紅</u> > <u>萃香</u> 試合放棄によるスリーカウント	<u>霊夢</u> & <u>萃香(博麗神社)</u>	<u>博麗神社</u> 防衛失敗 <u>もこけーね</u> が第四代王者戴冠
	緊急試合	タイトルマッチ	<u>妹紅</u> & <u>慧音(もこけーね)</u>	21:56 <u>慧音</u> > <u>萃香</u> 日出国の天子	<u>アリス</u> & <u>萃香(ARMS)</u>	防衛1回目

第36回	第6試合	タイトルマッチ	<u>妹紅&慧音(もこけーね)</u>	19:53 <u>妹紅</u> > <u>幽香</u> フジヤマヴォルケイノイラプション	<u>幽香&早苗(ゆうさな)</u>	防衛2回目
第38回	第7試合	次期挑戦者決定戦	<u>文&小町(あやこま)</u>	18:54 <u>文</u> > <u>フラン</u> 電光石火	<u>レミリア&フラン(スカーレット家)</u>	<u>あやこま</u> が挑戦者に決定
第39回	第6試合	タイトルマッチ	<u>文&小町(あやこま)</u>	17:28 <u>文</u> > <u>慧音</u> なんだからよく分からないけどすごい技	<u>妹紅&慧音(もこけーね)</u>	<u>もこけーね</u> 防衛失敗 <u>あやこま</u> が第五代王者戴冠

五代目...文&小町 (本部軍) 現王者・防衛なし(2009年10月現在)

- ▶ 下馬評でも圧倒的に相手方の勝利を予想する声が大きかったコンテNDERマッチ、タイトルマッチの2試合を乗り越え、ついに栄光を掴んだのは、かつては出るたびに失神KOを繰り返してきた本部軍の実況席コンビ、あやこまであった。
- ▶ しかし、伊達やフロックでベルトを手にするなど出来ないことは誰もが知っており、それゆえにこれからは、2人に対してなめてかかってくる選手などいないであろう。それこそが王者ロードというものであり、それを乗り越えられるかが、ファンの注目するところといえる。
- ▶ なお、東プロ初の「東プロ十選が一人も入っていない無差別級王者」であることから、注目を浴びている。

大会	試合	内容	勝者	試合時間・フィニッシュ	敗者	備考
第38回	第7試合	次期挑戦者決定戦	<u>文&小町(あやこま)</u>	18:54 <u>文</u> > <u>フラン</u> 電光石火	<u>レミリア&フラン(スカーレット家)</u>	<u>あやこま</u> が挑戦者に決定
第39回	第6試合	タイトルマッチ	<u>文&小町(あやこま)</u>	17:28 <u>文</u> > <u>慧音</u> なんだからよく分からないけどすごい技	<u>妹紅&慧音(もこけーね)</u>	<u>もこけーね</u> 防衛失敗 <u>あやこま</u> が第五代王者戴冠

[このページを編集](#)